

# 海洋学のすすめ

## ～海にハマって分かったこと～

### 講演題目

海のしくみを調べる～大学で海を学ぶ・研究する

千手 智 晴 (九州大学応用力学研究所 准教授)

海洋酸性化の実測に向けて

斉 藤 秀 (福岡管区気象台 気候変動・海洋情報調整官)

アーカイバルタグで調べるカツオ・マグロの生態

日 野 晴 彦 (水産研究・教育機構 水産資源研究所 研究員)

### 司会進行

岸 真 弓 (気象予報士・気象キャスター・防災士)

## 第7回 海の科学講座 in 九州

開催日時：2021年8月8日(日) 13:00～16:00 (開場12:30)

開催方法：オンライン開催

ホスト会場：福岡管区気象台大会議室 (福岡市中央区大濠1-2-36)

定 員：300名

申込方法：スマートフォンで右のQRコードを撮影、またはパソコンで下記URLアドレスのウェブサイトアクセスし、申し込み様式に入力  
<https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/kaiyo/knowledge/umi-kouza7.html>

申込締切：8月3日(火)

共 催：福岡管区気象台、九州大学応用力学研究所、水産研究・教育機構水産資源研究所

後 援：福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、地球ウォッチャーズ-気象友の会-

問合せ：092-725-3613 (福岡管区気象台 地球環境・海洋課 平日9時～17時対応)

参加無料  
事前申込が必要です



## 海の科学講座への招待

「海は広いな、大きいな」。海水浴に行ったり魚を取ったり、あるいは日常の細かいことを忘れるために海に出かける人もいるかもしれません。そんな「海とは何か」を知ろうとした時、海は「モノ」として大きいだけでなく、とらえどころがなく、学ぶべき「テーマ」としても巨大です。一方で高校までの授業で触れる機会もそれほど多くはありません。

今回の講座では、海に取りつかれた「人」にスポットを当て、海のどこに魅せられて、どんな切り口から何を学んだか、楽しいことやつらいことなど、講演者の経験を通じてわかったことを紹介します。高校生など若い人の進路を考える時の参考に、一般市民の方々にはこんな生き方もあったのかと新たな発見があれば幸いです。

海の不思議、未知の海に興味を惹かれる方、なんだかかわからないけどおもしろそうだな、と思った方、この機会にぜひ参加してみてください。

## 講座内容・講師紹介

### 『海のしくみを調べる ～大学で海を学ぶ・研究する』

講師：千手智晴（九州大学応用力学研究所 准教授）

私の専門は「海洋物理学」ですが、実は中学生までは数学も物理学も嫌いでした。「人生、逃げれば逃げるほど嫌な方に転がっていく」というのは、本当のことだとつくづく思います。そんな私を変えたのは、高校時代の理科の先生でした。海洋物理学の目標は、海の流れ（海水の運動）の仕組みを明らかにすることです。そのために、フィールドでの調査に加えて、コンピュータによる数値実験や人工衛星などを利用した遠隔計測が行われるようになり、今日では大学の研究の中でも大きな位置を占めています。自由な発想で、「誰も知らない新しいこと」をみつけるワクワク感、これが大学での研究の醍醐味でしょう。このワクワク感を共有できるような講演にしたいな、と思っています。



### 『海洋酸性化の実測に向けて』 講師：斉藤秀（福岡管区気象台 気候変動・海洋情報調整官）

気象庁がどうして海の化学を取り扱うのかはあまり知られていないところです。地球温暖化の原因の一つと言われている二酸化炭素。海にはもともと二酸化炭素がたくさん溶けていますが、人間が出した二酸化炭素が海にたくさん溶け込むと、100年後にはある種の生き物の殻が溶け始めるほどになるかもしれません。季節や海域による変動が大きい海水の水素イオン濃度指数（pH）の観測の中から、わずかな変化傾向をとらえることができるか、そのための装置開発から実測による変化検出への挑戦をかみ砕いてお話しします。



### 『アーカイバルタグで調べるカツオ・マグロの生態』

講師：日野晴彦（水産研究・教育機構 水産資源研究所 研究員）

カツオやメバチ、クロマグロなどのカツオ・マグロは、我々の食卓にのぼる重要な水産資源です。このような水産資源を獲りすぎることなく、利用し続けるためには、その生態を良く知ることが大切です。これまで漁業に基づくデータを中心に研究されてきましたが、最近では対象生物に直接電子標識を取り付けることで、遊泳深度や水温・体温などのデータが利用可能となりました。本講座では、小型電子標識であるアーカイバルタグによって明らかになったカツオ・マグロの生態について、東シナ海周辺で行った調査の様子やこれまでの研究成果を紹介いたします。



## 司会進行



岸 真弓（気象予報士・気象キャスター・防災士）

プロフィール：群馬県出身。学習院大学文学部卒業。気象予報士、防災士。日本気象協会に所属した後独立。現在、気象キャスターとして、テレビ・ラジオに出演。防災についての講演など、精力的に活動。野菜ソムリエなどの資格も持つ。



問い合わせ：092-725-3613(福岡管区気象台 地球環境・海洋課 平日9時～17時対応)

共 催：福岡管区気象台、九州大学応用力学研究所、水産研究・教育機構水産資源研究所

後 援：福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、地球ウォッチャーズ - 気象友の会 -

ホームページ：福岡管区気象台 | イベント <https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/kaiyo/knowledge/umi-kouza7.html>

九州大学応用力学研究所 | イベント <https://www.riam.kyushu-u.ac.jp/research/research-events.html>